

令和8年度 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」シンポジウム

近代化事業から伝統工芸品へ ～薩摩切子と肥前びーどろ～

世界の動きをいち早く捉え、軍備の強化や産業を興し、豊かな国づくりを目指した二人の藩主、薩摩藩の島津斉彬と佐賀藩の鍋島直正。彼らは同時代を生きた従兄弟同士であった。二人は、西洋の知識を貪欲に吸収し、日本在来の伝統技術と融合させ、試行錯誤を繰り返しながら近代化を進めていった。

そして、近代化事業の中で生まれたガラス技術は、鹿児島では主に美術工芸品として、佐賀では主に理化学や医療用の器具として発展する。

本シンポジウムでは、鹿児島県では鹿児島県の伝統的工芸品の薩摩切子として、佐賀県では佐賀県指定伝統的地場産品の肥前びーどろとして、現代に受け継がれているガラス技術が伝統工芸まで昇華した背景や、どのように復活し、又は変容を遂げながらも地域に受け継がれてきたのかを語る。



肥前びーどろ
写真提供：佐賀県文化観光連盟



令和8年 **11月23日** (月/祝)

時 間：13：30～16：10

会 場：鹿児島県歴史・美術センター 黎明館2F講堂

参加費：**無料** (要申込 裏面参照)

定 員：約**200**名

お問合せ

鹿児島県観光・文化スポーツ部
文化振興課世界文化遺産室

TEL：099-286-2364
FAX：099-286-5590

Email：
sekaibunka2@pref.kagoshima.lg.jp

主催：鹿児島県 共催：佐賀県 協力：鹿児島市文化財課

後援：南日本新聞社 MBC南日本放送 KTS鹿児島テレビ KKB鹿児島放送 KYT鹿児島読賣テレビ NHK鹿児島放送局

099-286-5590 (鹿児島県世界文化遺産室宛)

FAX参加申込み用紙

この用紙に記入したものを、そのまま送信してください

プログラム

- 12:30** 開場
13:30 主催者挨拶
13:35 オープニングトーク
「江戸技術の蓄積から近代化へ～斉彬・直正が拓いた日本の技術革新とその継承～」
鈴木 一義氏（国立科学博物館名誉研究員）
14:15 基調報告（鹿児島）
「薩摩の集成館事業と薩摩切子～集成館事業で製造されたガラス製品～」
小平田 史穂氏（島津家歴史博物館尚古集成館学芸員）
14:40 基調報告（佐賀）
「佐賀藩精煉方と肥前びーどろ～佐賀の地で受け継がれたガラス製造技術～」
都留 慎司氏（佐賀県立佐賀城本丸歴史館学芸員）
《休憩》
15:15 パネルディスカッション
「近代化事業から発展した伝統工芸品～薩摩切子と肥前びーどろ～」
コーディネーター 下豊留 佳奈氏（第一工科大学非常勤講師）
パネリスト 鈴木 一義氏、小平田 史穂氏、都留 慎司氏

応募方法 (先着順)

参加ご希望の方は、お名前、お住まいの市町村名(県外の方は県名から)、電話番号をご記入の上、FAXまたは申込みフォームより

11月13日(金)までに申込先へお申し込みください。

申込先

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
鹿児島県世界文化遺産室
「明治日本の産業革命遺産シンポジウム」係

FAX: 099-286-5590



鹿児島市城山町7-2

〈会場図〉



申込みフォーム

※同一人物の複数回応募は2回目以降無効といたします。

(ふりがな) お名前	お住まいの 市町村名 (県外の方は県名から)	電話番号